

もっと深いところへ

RUSSIAN
PIANISM
LECTURE
CONCERT

響きを、
生き方に。

Piano for a Deeper Life

Shinji Ono

大野眞嗣

ロシアピアニズム
（現代ピアノ奏法）
レクチャーコンサート

往年の巨匠から現代の第一線で
注目されるピアニストたちの奏法

2027.
2.13（土）

16時開演（15時半開場）
定員60名　6,500円

Program

第一部　ピアノ奏法レクチャー
第二部　コンサート

演奏予定

M.ラヴェル
夜のガスパール
R.シューマン
交響的練習曲（遺作付き）op.13

※都合により曲目が変更になる場合がございます。

アーク栄サロンホール

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄2丁目12番12号
アーク栄白川パークビル2F
地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」徒歩6分

ARK
SAKAE
SALON HALL

主催　SARA PIANO TUNING OFFICE

後援　一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）

お申し込み・お問い合わせ

sarapianoforte1978@gmail.com

── ピアノという宇宙を、共に。

Pianist

大野眞嗣

Shinji Ono

プロフィール

1965年（昭和40年）東京生まれ。
千葉県立幕張西高等学校（音楽コース）、桐朋学園大学及びオーストリア国立ザルツブルク音楽演劇大学（モーツァルテウム音楽院）にて学ぶ。
1987年　桐朋学園大学在学中、第33回マリア・カナルス国際音楽コンクール・ピアノ部門にて特別メダル受賞。

これまでに荒木栄子、上杉真弓、佐野川延子、田辺緑、大和哲朗、中島和彦、広瀬康、アルフォンス・コンタルスキーの各氏に師事。その他、マックス・エッガー、弘中孝、エディット・ピヒト＝アクセンフェルト、ハンス・ライグラフ、ゲルハルト・オピッツ、ペーター・ラング、キャサリン・ヴィッカース、マイケル・ロールの各氏のレッスンを受講。

ヨーロッパ在住中、ドミトリー・バシキーロフ、タチアナ・ニコラーエワ両氏との出会いからロシアピアニズムに目覚め、現在に至るまで研究を続け、昨今ではモスクワ音楽院教授を始め、多くのロシア人一流アーティスト（アンドレイ・ガヴリーロフ、パーヴェル・ネルセシアン、アンナ・マリコヴァ、マキシム・モギレフスキー各氏など）と交流を深め、とりわけ、ディーナ・ヨッフェ氏との出会いにより、ロシアピアニズム、中でも「ネイガウス流派」のピアニズムに傾倒する。また、フランス、スペイン、イタリア、アメリカの講習会に、講師として招待される。

2014年　ヤマハ銀座店にて、「美しい音を求めて～ロシアピアニズムに基づく現代ピアノ奏法」と題してレクチャーを催す。

帰国後、約30年間のロシアピアニズムの奏法の研究、教育活動において、国際、国内コンクールにて多くの受賞者を輩出。自身のブログ「大野眞嗣 ロシアピアニズムをつぶやく」は、多くの読者の支持を得ており、日本においてのロシアピアニズムの奏法を広めるべく執筆活動を続けている。

また、著書に「響きに革命を起こすロシアピアニズム」～色彩あふれる演奏を目指して～（ヤマハミュージックメディア）、その他、冊子「ピアノの本」にて「大野眞嗣のロシアピアニズムが教えてくれた」を連載。

現在、恩師でもあり友人でもあるディーナ・ヨッフェ氏監修の下、「大野ピアノメソッド」代表を務める。

ロシアピアニズムが
教えてくれたのは、
音の深さと、
人生の豊かさでした ——

Shinji Ono



ロシアピアニズム

深い響き、豊かな色彩、
そして人間の心に触れる音楽 ——。
その真髄を追い求めて、
これからも。

Music touches the soul.